

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	青山 尚之		
居室	東4-304		

公開E-Mail	授業関連Webページ
aoyama@mce.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>[0]コンピュータの素である、“UNIXシステム”の操作に慣れること。 (=最近のパソコンはインタフェースが発達して、画面のウインドウをクリックするだけですが、ここではコマンドを入力して、操作します)</p> <p>[1]インターネットブラウザ“NetScape”を利用してさまざまな情報源 (=Web site)から情報を取得する。</p> <p>[2]情報処理センターのUNIX端末を利用して、自分のホームページを作成し、 情報を発信する。</p> <p>[3]電子メールを使用して、他人とコミュニケーションする。</p> <p>[4]数式処理ソフト Mapleを用いて 数式をコンピュータ上で処理する。</p> <p>このために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UNIXについてログイン・ログアウト, パスワードの変更 ・ Muleの使い方について(UNIX上のテキストエディタ) ・ 電子メールの使い方とルールについて ・ UNIXコマンドを使いこなす(ファイル、ディレクトリの概念と操作) ・ World Wide Webによる情報発信(=ホームページを作る) <ul style="list-style-type: none"> -HTMLコマンドでファイルを作成し、セーブ -ブラウザで開封すると 綺麗な画面! ・ Mapleを使った数式処理
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】

「UNIXコンピュータリテラシー(共立出版、渡辺成良)」、
「わかる&使えるUNIX基礎講座入門(技術評論社、中井 狼)」、
「入門 ここから始めるUNIX(日本実業出版、川口 直樹)」
このテキストの内容がUNIXのマルチウインドウ環境を利用してWWW(=World Wide Web)
教材として提供されています。このWeb教材で自習できるため、自分のペースで理解を深めることができます。

【授業内容とその進め方】

実際にUNIX端末からログインして、基本的な概念やコマンドの使い方を学び、さらに理解を深めるために、電子メール、HTMLを用いたホームページおよびすい式処理ソフトを使い課題を解決する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

>特に決まったレポートや定期試験はありません。
>各自がどれだけ習熟したかを下記の評価項目で評価します。
>最終的な締め切りは 7月20日ころになります。
>毎回の出席点

[1] UNIXのコマンドを理解して、ファイルをうまく操作できたかどうか?

[2] 電子メールを利用して他の人とコミュニケーションができたかどうか?

[3] 自分のホームページを作成できたか?

[4] Mappleを使って、グラフィック処理ができたかどうか?

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【学生へのメッセージ】

【その他】
各種の連絡はメ - リングリストから知らせるので、必ず指示された方法で メ - リングリストに登録すること。